

令和4年度川島地区小中学校関係者評価（報告）

- 1 期日 令和5年2月28日（火）9：30～11：40
- 2 会場 吉野川市立川島中学校視聴覚室
- 3 出席者 川島地区学校運営協議会委員9名（川島小校長・学島小校長・市立川島中校長・教頭を含む）
- 4 概要と主な質問・意見・感想

（1）今年度の取組の概要説明

小中一貫教育の取組，生徒指導（生徒の登校状況など），学校保健委員会の資料（メディア依存の課題について），学力向上の取組（全国学力学習状況調査・徳島県ステップアップテストの状況など），教員の在校時間調査結果（超過勤務の実態），主な行事，学校評価アンケートの実施状況と結果などから分析した成果と課題について校長と教頭が説明を行った。

（2）主な運営委員による意見や感想と回答

委員：3校の保護者アンケートから地域の評価が高いのはうれしいことだ。教職員の努力が大きい。気になるところは，活字離れ，これは難しい。簡潔にしゃべる訓練はしてくれていると思うが，自分の考えを伝えられないことについても難しい。自己肯定感，自尊感情が全国平均より低いということについては，意識して取り組んでいるところがすごい。カウンセラーから最近の子どもからの相談に多い内容で，自分が愛されているかどうか不安といった内容がある。コロナ禍以前よりも重い内容が多くなっているらしい。

委員：「問7 いじめはどんなことがあってもいけないことだ」に対して，川島小・学島小は100%であるが，市立川島中は96%となっている。この4%が誰かは無記名なので分からないと思うが，どのような対応をしたのか聞きたい。

回答：無記名であり，だれが入力したのかわからない（R4年度全国97.2%，徳島県96.4%）のでおそらく本音であると思われる。いじめに対しての指導としては，2ヶ月に1回程度「君のこと教えてシート」で，いじめなどの学校や家庭での生活の悩みなどを書かせ，それをもとに個別対応などの対策を行っている。また，道徳や人権に関する授業や様々な行事を通じて，まわりの人を大切に育む気持ちを育てる取組を行っている。

委員：「問2 学校に行くのは楽しい」，「問3 友達と協力するのは楽しい」，「問4 人が困っているときには，進んで助けている」，「問7 いじめはどんな理由があってもいけないことだ」について，肯定群が高く安心した。ICTの利用について，積極的に進められており，生徒にとってはいいと思うが，教職員の負担はどうか。「問16 将来の夢や目標を持っている」について，中学生に比べて小学生が高いがどう思うか。「問20 身の回りの整頓や部屋の掃除など，自分のことは自分でできている」については，家庭教育の問題ではないか。また，保護者アンケートの「問9 私の子どもは早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている」や，「問7 私の子どもは家族や友達，近所の人にあいさつができる」についても，家庭教育によるところが大きいのではないか。こだま会館で中学生が砂を投げて遊んでいた。様子を見ていたが，車に砂が当たっていたので，投げないように注意をした。帰り際にこだま会館まで来て挨拶をして帰った。とても気持ちが良かった。

委員：スマホの使用などについてのアンケート結果で親と子のギャップが興味深い。食事などの時に、スマホを持って、家族みんながそれぞれ見ているというのを目にする。スマホ使用のモラルや常識など、最近は飲食店でのいたずらなども問題になっているが、ばれなければ大丈夫という風潮にならないことを願う。

委員：親が子どもに気を遣っている場面を見かける。親が子どもの機嫌をうかがい、親と子の立場が逆転しているような状況もある。いじめについては、以前はそれを止めるリーダーがいた。親がゆとり教育の世代に入っているからかもしれない。正義感のあるリーダーの育成をしてほしい。子ども食堂で、親に子どもを怒ってほしいと頼まれることがある。子どもにとっては怒られることがかえって喜びと感ずることもある。親が子どもを愛情を持って怒ることも大切である。先ほどの委員のように地域の人も気づいたときに叱った方がよい。世間では政治家が悪いことを隠すようなことがあり、子どもに悪影響を与えているのではと懸念する。

委員：子どもの活字離れは気になる。

委員：家では毎朝30分かけて新聞を読んでいる。それをしないと職場で話が合わない。家庭で半分くらいは新聞を取っていない状況がある。新聞を親が読むと子どももまねするようになるのではないか。

委員：新聞に学校の記事が載っているのに多くの家庭で見られていないのはもったいない。徳島新聞の方にお願ひして記事を校内に掲示するなど考えてみてはどうだろうか。

委員：保護者から小学生の体操服登校を続けてほしいという希望がある。また、体育祭は半日が良いという意見がある。いろいろな意見があるので検討してほしい。

回答：検討する。

委員：本年度はなかったが、来年度はCS委員が授業の参観などはする予定はあるのか。

回答：本年度は、コロナの感染状況により、保護者参観も開催が難しい状況があり、運営協議会委員の授業参観は開催しなかった。来年度はコロナの状況により、授業参観を開催することは可能であると思われる。来年度に検討する。

5 まとめ

※市立川島中学校は、川島小学校・学島小学校とともに令和4年度よりコミュニティ・スクールとしてスタートした。

※3校合同の学校評価アンケートを作成し、Formsを利用して収集・集計を行った。保護者のアンケート回収率が少し下がったが、結果集計等データの整理にかけていた時間を大幅に短縮することができた。公表もメール配信で周知した上でホームページを利用し、働き方改革の推進につながった。

※事前にアンケート結果と分析資料を届けていたので、焦点化した話し合いができた。いただいた意見を真摯に受け止め、次年度の目標設定や具体的な活動計画に反映させていきたい。

※地域で学校の取組や生徒たちの成長をあたたく見守ってくださっている運営協議会委員の皆様には、今後のさらなるご協力をお願いして会を閉じた。